

PA-303JRW 構成

2チャンネル + リアウーファー

¥52,000 (¥47,000)

小形サウンドコントローラー



¥12,000

システムインターフェース ¥8,000



旧PA504シリーズ互換接続キット

メインケーブル
旧504と交換
の場合は不要

中継コネクター
CN-303JW

¥5,000



メインケーブル

¥3,000



CN-303J 中継コネクター

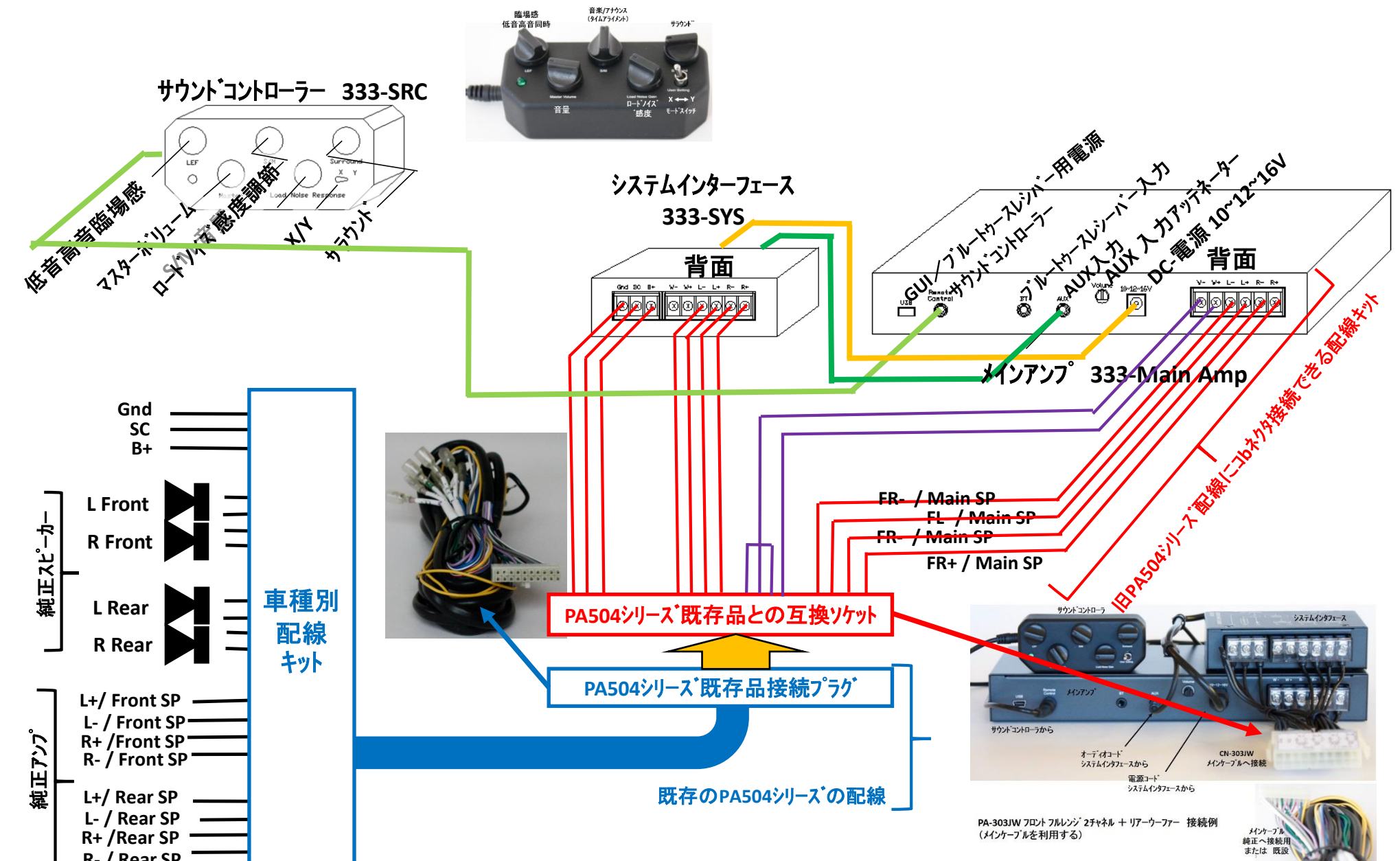
メインアンプ° ¥24,000



接続コード一式付属

価格は税送抜き (¥) は、旧PA-504シリーズと交換の場合で、メインケーブルが不要な場合

旧PA-504シリーズ と互換 フロントフルレンジ & リアーウーファー PA-303JRW 構成と接続



注: 予備の 1チャンネル はご要望に応じて、ウーファーなどのフロントとは別のスピーカーに割り当てることができます。

CN-303J 中継コネクター



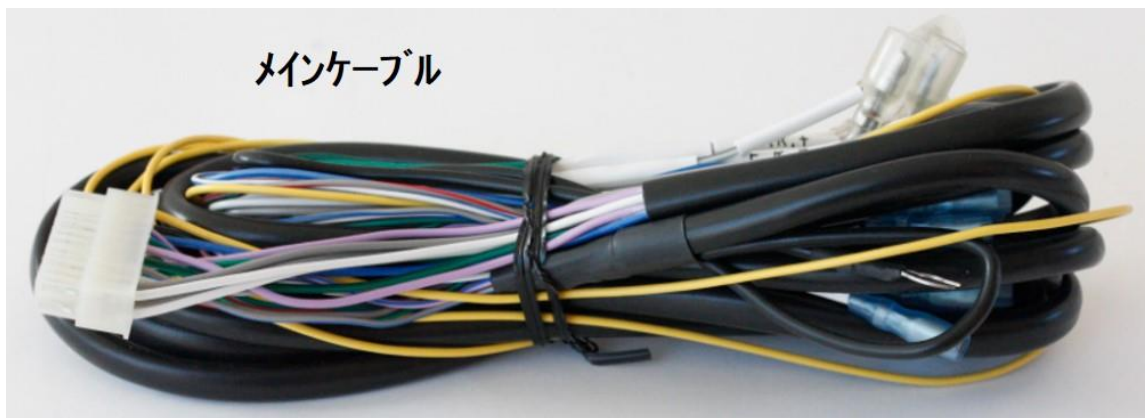
電源 接続コード



オーディオ 接続コード



メインケーブル



Dサウンドシャキット 使い始めの推奨調節方法について

小型サウンドコントローラおすすめ状態



メインアンプのおすすめ状態

小型サウンドコントローラが接続されると、コントローラ側に制御が移る操作



仕様

電源: 12V (10V~16V)
消費電流: 暗電流 0.003A/3ch
無信号時 0.23A/3ch
最大出力時平均 3A/3ch
入力信号: AUX 700mVrms/12時
BT 300mVrms
USB充電出力: 5V, 0.1Amax
その他詳細: j-soundscience.com

小型サウンドコントローラ	下左ツマミ	音量	小音量(左)で強力な臨場感
	下右ツマミ	ロードノイズの検出感度 (走行時効果が大きすぎる場合は左へ)	走行騒音に応じた最適音質音量
	上左ツマミ	臨場感 (メインアンプで設定された低音と高音の比率で低音高音同時)	音源に近い音質
	上中ツマミ	音楽/アナウンスの音質選択 12時:自動, 左へ手動音楽, 右へ手動アナウンス タイムアライメントの調節は メインアンプのモード選択:9時, モードスイッチを右に倒して、5秒後から調節し、モードスイッチを左に戻した後、モード選択も元に戻す	音楽だけ聴く場合は左いっぱい
	上右ツマミ	サラウンド (AMラジオの音楽でもサラウンドで左右に音場を広げる)	
	モード制御	通常左側, 右側ではすべての効果がオフ	
メインアンプ	背面AUX感度	12時 (音割れがする場合は左へ、感度不足の場合は右へ)	
	左2番目	低音臨場感成分比率: 通常右いっぱい	
	左3番目	高音臨場感成分比率: 通常12時 → 高音が強い場合は左へ	
	左4番目	左右の音の方向を調整 (AMラジオのアナウンスを再生)	前方に聴こえるよう
	モード選択	各種音質選択: 右表参照 1. タイムアライメント調節時はスナップスイッチを右に倒し、5秒後から音楽/アナウンス ツマミがタイムアライメント調節となる。AMラジオのアナウンスで音の方向を調節調節後、スナップスイッチを左に戻し、モード選択を元のーに戻す。 2. ウーファの位相を反転する場合は モード選択を9時から左へ一つ回し、5秒経過後元のーに戻す。 3. ウーファの位相を正相とする場合は モード選択を9時から右へ一つ回し、5秒経過後元のーに戻す。 4. 純正音質改善の場合: 右図参照 5. セカンドオーディオの場合: 右図参照	

16ポジションのモード選択スイッチの割り当て		
ポジション	用途	
1	セカンドオーディオ標準	
2	タイムアライメント調節モード	
3	純正音質改善 (セダン用)	
4	純正音質改善 (ツーボックス用)	
5	純正音質改善 (ワンボックス用)	
6	5秒後に ウーファ の位相を	出荷状態に記憶
7		反転記憶
その他	ユーザー要望拡張用	

- ご注意 ◆ 緑のランプの音量に同期した点滅は、過大入力サインです。点滅なくなるまでヘッドユニットまたはナビ側の音量を絞ってください。
- ◆ ロードノイズの検出感度は車に合った、最適の状態に調節します。効きすぎるとロードノイズよりも強力な低音の大音量が発生します。
- 使い始めは控え目(左)から初めて、徐々にアップ(右へ)する方法で、最適状態に合わせ込みます。ツマミの操作は、慣れない間は停止中に行ってください。
- ◆ アナウンスとミュージックの自動音質調整は100%完全ではありません。音楽だけのときは左いっぱい、ニュースだけのときは右いっぱい、ラジオ放送では中央でお使いください。

取付配線

純正音質改善モデル フロントフルレンジ&リアーウーファー PA-303JRW

ユニット		設置場所と方法	配線先		注意事項
小型サウントコントローラ		適切場所, ユーザ希望場所	メインアンプ {Remote Control}		プラグ側、配線に緩みを設ける(テンションをかけない) 緩みがなければ、プラグが斜めになり、振動で雑音発生
システムインタフェース	To Speaker { L+, L-, R+, R- }	メインアンプの隣	中継コネクタ	From Amp Front { L+, L-, R+, R- }	純正スピーカー側は切断する ヘッドユニットまたはナビ側のフェーダーで、リアー音量を絞る
	Gnd, SC, B+			Gnd, Acc, B+	Accがシャットダウン → 約90秒後にメインアンプの電源がオフ
	Power Out		メインアンプ	10,12,16V 電源入力	
	Line Out			AUX in	両端プラグ側に緩みを設ける(テンションをかけない) 緩みがなければ、プラグが斜めになり、振動で雑音発生
メインアンプ		座席下(ウーファーとは別の)	中継コネクタ, システムインタフェース		
電源接続コード			メインアンプ {10, 12,, 16V} システムインタフェース {Power Out}		
オーディオ接続コード			メインアンプ AUX in, システムインタフェース Line Out		両端プラグ側に緩みを設ける(テンションをかけない) 緩みがなければ、プラグが斜めになり、振動で雑音発生
中継コネクタ	From Amp { FL+, FL-, FR+, FR- }		純正システムアンプ	FL+, FL-, FR+, FR-	
	Gnd, Acc, B+		純正システム電源	Gnd, Acc, B+	
	To Speaker { FL+, FL-, FR+, FR- }		純正スピーカー	FL+, FL-, FR+, FR-	Frontはフルレンジ, リアーのLRはウーファー, に割り当て
	To Speaker { RL+, RR- }		純正スピーカー	RL+, RL-, RR+, RR-	リアーのLRは直列接続し、ウーファーに割り当て 直列接続は中継コネクタ側で配線済み
メインケーブル			中継コネクタ, 純正システム		

設置手順と方法 純正音質改善モデル フロント2chフルレンジ & リアドアをウーファーに使う PA-303JRW

1A		
2A	サウンドコントローラ設置	2-1. サウンドコントローラのコードはとりあえずは垂れ流しにしておく 2-2. ダッシュボードの上 または 運転席から操作しやすい場所にサウンドコントローラを取り付ける
3A	そのほかのユニットの 設置場所の決定	3-1. メインアンプ1セット: 座席の下 3-2. システムインターフェース1セット: メインアンプの側近
4A		
5A	サウンドコントロールコードの 仕舞い込みと サウンドコントローラへの接続	5-1. サウンドコントローラからメインアンプのRCジャックに向けて接続線を延ばす 5-2. 配線経路で、コードが見えないように、{車の構造物と構造物の隙間にコードを埋め込む} {マットの下に仕舞い込む} 配線経路で、コードが足元や手元にはみ出ることがないように、配線 5-3. 配線の仕舞い込みが終われば、サウンドコントローラからの接続線のプラグを、RC 入力 へ、奥までしっかり差し込む
6A		
7A	中継ソケットの システムインターフェースと メインアンプへの接続	中継ソケット CN303J の矢型端子の; 7-1. { B+, Gnd, Acc } をシステムインターフェースの { B+, Gnd, SC } へ接続 7-2. From Amp の フロントの { FL+, FL-, FR+, FR- } を システムインターフェースの { FL+, FL-, FR+, FR- } へ接続 7-3. to Speaker の フロントの { FL+, FL-, FR+, FR- } を メインアンプの { FL+, FL-, FR+, FR- } へ接続 7-4. to Speaker の リアの { RL+, RR- } を メインアンプの { W+, W- } へ接続 7-5. to Speaker の リアの { RL-, RR+ } を ショート (リアウーファーのLRを直列接続)
8A	システムインターフェースと メインアンプの接続	システムインターフェース と メインアンプの; 8-1. Power Out と DC電源入力 を付属の電源コードで接続 8-2. Line Out とAUX入力 を付属のオーディオコードで接続
9A		
10A		

1B	エンジンを起動する 前の確認	1B-1. サウンドコントローラコードからの接続線がメインアンプの RC へ接続されていることを確認 1B-2. メインアンプのモード切替スイッチが 4時（右向き水平方向から右回りへ一段目（または2段目）（または3段目）） 1B-3. メインアンプと小型サウンドコントローラのスナッフスイッチが左側
2B	エンジンを起動して 電源系統の確認	2B-1. サウンドコントローラの緑ランプが数秒間点滅の後、連続点灯 （点灯しない場合はメインアンプの緑ランプの点灯を確認 ――> 点灯していればサウンドコントローラとメインアンプの接続を再確認） （メインアンプの緑ランプが点灯していない場合 ――> 電源コードの接続を確認）
3B		
4B		
5B	純正システムの再生音の ダイナミックサウンドシャキットでの 再生を確認	5B-1 純正側の再生音量を最大値の 2/3 程度とし、ダイナミックサウンドシャキットから、音量を制御できることを確認
6B	操作ツマミの機能確認	6B-1. 各種ボリュームとスイッチの状態の確認（以下、時刻表記は時計の短針の位置に相当） メインアンプ側：推奨調節方法を参照 小型サウンドコントローラ側：推奨調節方法を参照 6B-3. 補足説明； L/Rの音量バランスはメインアンプ側で調整（サウンドコントローラからは調整できません） サウンドコントローラを接続した状態で、メインアンプの低音と高音の調整は、低音と高音の比率を決定します メインアンプで設定された低音と高音の比率のまま、サウンドコントローラの LEF（臨場感）調整ボリュームで音質を調整します

7B	純正システムの再生音を適正な音量で再生する設定	7B-1. 聞き慣れた楽曲 や 低中高音でバランスの良い楽曲を再生 ー＞ 適正音量音質、好みの状態に調節 7B-2. 左右の音量バランスの調節： ニュースを再生し、音が正面から聞こえるようL/R Balanceを調節（右ハンドルの場合、11時前後） 7B-3. タイムアライメントの調節：ニュースを再生し、 MODE 0, スナップスイッチ右Y側、5秒後 S/M Tone を回し、音が正面から聞こえるよう調節、 スナップスイッチを左X側に戻す 7B-4. サラウンドの調節： 好みの状態に
8A	パーキング中での音質確認	8B-1. ダイナミックサウンドシャキットのマスターボリュームを10時とする 8B-2. ダイナミックサウンドシャキットの再生音量が適正音量となるよう、純正システムの再生音量を選択 8B-3. その後の再生音量はダイナミックサウンドシャキットのマスターボリュームで調節 （ダイナミックサウンドシャキットの再生音が【歪む、音割れ】ー＞ 純正側音量を下げる） （ダイナミックサウンドシャキットの再生音に【チリチリ、サザ】とノイズが入る ー＞ 純正側音量を上げる） 8B-4. 純正側で再生したい場合はジュニアサラウンドシャキットの音量を絞リ、純正側の音量を上げる。
8B	走行中での音量音質確認	9B-1. 停止中、常々聞いている音量にセット 9B-2. 走行中、最も右のロードノイズ対応音量音質調整ツミで、 走行速度や路面状態によって大きく変化するロードノイズの中で、最適音量音質に調節（その後は固定） 一度設定しても、慣れの度合いによって、さらに自然にしたい、と感じます。その時は再調節します。 何度か試みて最適のポジションを選びます。 （ 注意： 慣れない間、運転中の音量が気になりますが、運転を最優先にしてください ） （ 注意： 楽曲によって、放送は電波の状態によって、音量が変わります。 この場合はマスターボリュームで調節します）
10B	アナウンスと音楽の音質確認	10B-1. S/M Tone のツミを12時とし、楽曲とアナウンスとの再生音質を比べます。 12時の位置はアナウンスと音楽の自動判定による自動音質制御です。 音質を自動ではなく手動選択にしたい場合、 12時から左に廻すほど手動での音楽向きの音質になります。 中間は固定の【音楽音質またはアナウンス音質】と自動とを案分します。12時に近いほど自動調節に任せます。 （自動の場合、映画や天気予報など、BGMが入っていると、音楽音質傾向になります。）
11C	各操作ツミの有効的な使い方	目を向けなくても、指先の感覚で場所と角度を調節できるように。 11C-1. マスター 必要に応じて都度操作。 11C-2. Bass Tone, Treble Tone 好みの低音感と高音感にバランスよく調節（メインアンプ側で設定、小型サウンドコントロー側からは双方同時） 11C-3. LEF 楽曲の臨場感を調節（メインアンプ側で設定された低音と高音のバランスのままそのミックスされた臨場感の調節） 11C-4. Surround 好みによって、楽曲によって、左右の広がり刊を調節。録音状態によっても効果が異なります。 モノラル放送の場合は機能しません。 11C-5. Load Nose Response 走行騒音中での快適なリスニングを提供する機能です。 数回の調整で、最適の状態にセットできます。

ご使用に際して

運転中のリスニングで、
前方から音が聞こえること、
ロードノイズに対応して音量音質が最適状態に自動調節されること、
コントロールの操作ツマミが多いこと、
など、これまでのカーオーディオとは音質の感じ方や操作方法が大きく違います。
数回の運転で慣れますが、
使い始めはくれぐれもご注意くださいまして、運転に集中くださいますよう。

いろいろな楽曲でお試しくくださいますよう。

何かと、お気づきの点がありましたら、下記までご連絡くだされば、と存じます。

サウンドサイエンス株式会社

郵便番号 770-8041 徳島市上八万町西山436番地

0886-44-2222

web_support@soundscience.co.jp